

西宮北口駅北東地区震災復興第二種市街地再開発事業

受賞機関 都市基盤整備公団関西支社市街地整備第一事業開発課
西宮市都市局西宮北口整備部北口開発事務所

はじめに

西宮市は、大阪・神戸の中間地点に位置し、文教住宅都市として発展してきた。

西宮北口駅は、阪急神戸線・今津線が乗り入れる交通の要であり、当地区は昭和初期より商店街、市場が開設され、約220店が軒を並べる市内有数の商業エリアになった。

しかし、一方では、当地区の道路整備は進まず、商店・住宅が密集・混在していた。それに加えて地区の建物の老朽化や商業の衰退もあり、西宮市と地元により再開発の計画が策定され、平成4年に再開発準備組合が設立されたが、借地・借家が多く再開発計画はスムーズには進まなかった。

平成7年1月17日に阪神・淡路大震災が発生し、北東地区も約70%の店舗・家屋が倒壊し、200世帯480人が避難するという被災を受けた。

都市基盤整備公団は、平成7年2月に西宮市より「被災市街地復興特別措置法による第二種市街地再開発事業の施行要請」を受け事業に着手した。

事業の概要

事業の名称：西宮北口駅北東地区震災復興第二種市街地再開発事業

施行者：都市基盤整備公団

施行区域：兵庫県西宮市北口町の一部

権利者数：582人

施行面積：約3.3ha

公共施設：駅前広場、都市計画道路4路線
(一部鉄道との立体交差含む)
公共下水道計画に合わせて整備
公共自転車駐車場(約2,510㎡、約2,000台)

施設建築物

街区	1街区(西館)	2街区(東館)
敷地面積	約7,670㎡	約8,740㎡
規模	地下2階、地上19階	地下2階、地上19階
延べ床面積	約52,670㎡	約63,050㎡
用途	住宅	約17,300㎡(153戸)
	公益施設	約4,970㎡
	商業施設	約17,000㎡
	駐車場	約13,400㎡(380台)
		約17,000㎡(167戸)
		約8,690㎡
		約22,480㎡
		約14,880㎡(450台)



全景



ACTA西宮

事業の特徴

震災復興事業として、西宮市より施行要請を受け、582人にもおよぶ権利者、複雑な権利関係等の難題を抱えながら、平成13年4月20日に施設建築物の竣工、商業施設のグランドオープンを迎えることができた。

新しく誕生した「ACTA西宮」は、2街区、2棟の施設建築物に都市型住宅320戸、専門店・核店舗・サブ核店舗からなる商業施設、図書館・市民ギャラリー・大学交流センター・市民サービスセンター・保健福祉センター・消費生活センターの公共施設、公共駐車場からなり、西宮北口駅へプラザデッキで直結し、住宅・商業・文化の融合した活気ある街として大いに期待されている。

公共施設については、都市計画道路4路線、地下自転車駐車場、駅前広場、歩行者デッキで構成されている。施設建築物の竣工から約2年後の平成15年3月31日に阪急神戸線との立体交差する都市計画道路「北口線」を完成し、事業を完了した。

受賞賛助会員 (株)浅沼組大阪本店、大末建設(株)大阪本店、佐田建設(株)大阪本店、大成建設(株)関西支店、日本橋梁(株)、松尾橋梁(株)